

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

帝人株式会社 樹脂事業本部 三原生産部

(2) 事業所の所在地

広島県三原市円一町1丁目1番20号

(3) 業種

プラスチック成形材料製造業（1851）

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25(2013)年度を基準年度とし、令和6(2024)年度から令和12(2030)年度までの7年間とする。

3 計画の基本的な方向

1 基本的な考え方

当社は環境の保全を経営の重要課題と位置付け、環境に配慮した事業活動に努め、環境への負荷の低減を推進することにより、持続可能な社会づくりに貢献します。

特に、今日の環境問題の中でも、とりわけ重要視されている地球温暖化防止については、自らの事業活動のみならず、当社の製品を使用する消費者のことも考慮し、温室効果ガスの排出抑制に努めていきます。

2 方針

- 省エネルギー、省資源の推進
- 新エネルギーの導入促進
- 環境にやさしい製品の提供
- 廃棄物の排出抑制・リサイクルの推進
- 環境保全活動への積極的な参加
- 社員への環境教育への徹底

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成25 (2013) 年度	令和5 (2023) 年度
二酸化炭素	14,286	5,838

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 () 年度	令和 () 年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 () 年度	令和 () 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF ₆ NF ₃)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)、削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成25 (2013) 年度)		削減目標		目標年度 (令和12 (2030) 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)	
エネルギー起源CO ₂	14,286	45.5	6,506	7,780	
非エネルギー起源CO ₂	0	#DIV/0!	0	0	
メタン	0	#DIV/0!	0	0	
一酸化二窒素	0	#DIV/0!	0	0	
その他 温室効果ガス	0	#DIV/0!	0	0	
温室効果ガス 実排出量総計	14,286	45.5	6,506	7,780	
温室効果ガス みなし排出量	0	-	0	0	
目標設定の考え方	・2030年度エネルギー起源CO ₂ 削減目標は、弊社内方針により各工場2018年度排出量実績 (8,841tCO ₂) 基準12% (1%/年) 削減で設定。その結果、2013年対比45.5%の削減目標となる。				

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

生産量(t)

単位：排出量(t-CO₂)、原単位量 (kg等)、削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成25 (2013) 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和12 (2030) 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	14,286	26,678	0.54	50.0	7,780	28,500	0.27
非エネルギー起源CO ₂				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量	14,286	26,678	0.54	50.0	7,780	28,500	0.27
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	-	-	0.196	37.2	-	-	0.123
目標設定の考え方	「排出量基準」を削減目標とするが、生産量による影響が大きいため、参考値として「原単位基準」を併記する。						

※ 削減率 (d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置及び目標並びに具体的な取組等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	燃料消費量の削減	・ 対前年度比1%削減	・ ボイラー効率運転の検討
2	電気使用量の削減	・ 対前年度比1%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高効率照明器具への更新 ・ 省エネ型電気機器への更新 ・ 高性能インバーター機器への更新 ・ 休憩時間の消灯の徹底 ・ 電熱ヒータ待機時の温度設定
3			
4			

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

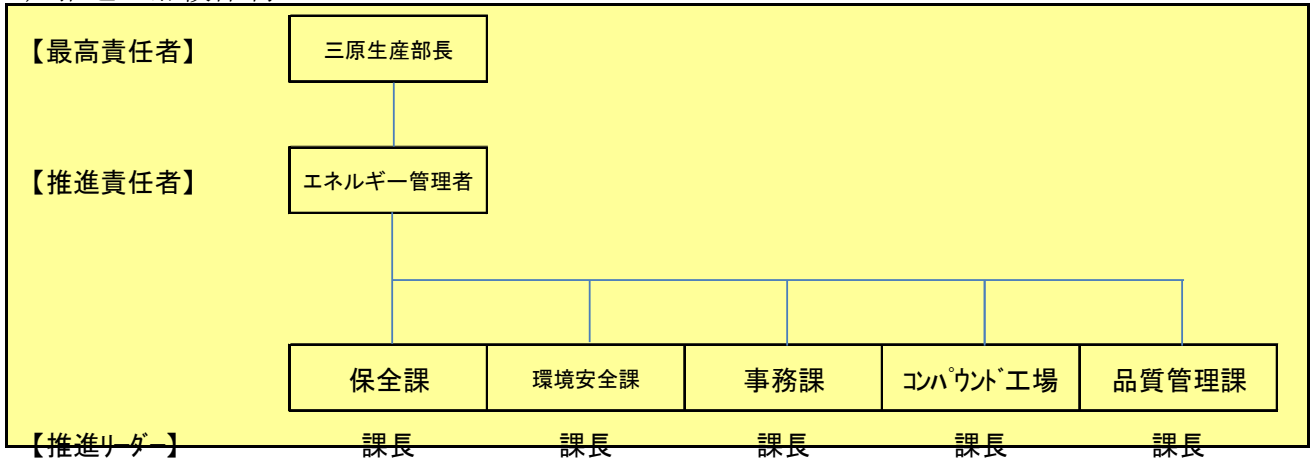
○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

保全課を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取組状況の把握・点検及び問題点の検討を行い、実績会議において定期的に経営者に報告するとともに、安全衛生委員会において評価・見直し等を行い、継続的な向上を図る。
また、毎年度の取組状況、点検・評価内容等については、計画書とともに公表する。

(3) 計画書等の公表

- ・事務所に備え付けて閲覧する。